



2020年6月期 第3四半期
決算補足資料

すまいと暮らしの“未来”を創る コレカラ



2020年5月18日
日本リビング保証株式会社
東証マザーズ:7320

どのような
会社か

「アフターサービスプラットフォーマー」

当社は、クライアントとオーナーを繋ぐプラットフォームの提供を通じ、
オーナーには「利便性・安心安全」を、
クライアントには「業務効率・ビジネスチャンス」を創造します

業績は
どうだったか

「各業績項目で過去最高実績」

売上高 : 14.69億 (進捗率 79.4%)
営業利益: 2.02億 (進捗率 105.2%)
経常利益: 2.67億 (進捗率 110.3%)

その他
トピックス

- ・日本生命保険との業務提携
- ・地方サービスセンター開設
- ・東京本社オフィス移転

各業績項目において過去最高を達成

	今期 第3四半期 (2019.7~2020.3)			通期 業績予想 (2019.7~2020.6)
		YoY	通期予想に 対する進捗率	
売上高	過去最高 1,469 百万円	133.5%	79.4%	1,850 百万円
営業利益	過去最高 202 百万円	174.2%	105.2%	192 百万円
経常利益	過去最高 267 百万円	185.6%	110.3%	242 百万円
当期純利益	過去最高 177 百万円	180.8%	112.0%	158 百万円

主要業績の主な状況および要因は以下の通り

売上高

長期保証契約の獲得、BPO新規案件受注により
引き続き順調に進捗

※第3四半期においては新型コロナウイルスによる影響は軽微

営業利益

採用・オフィス移転等の遅延が上振れ要因

※本社オフィス移転は2020年5月に実施済み

経常利益

資産運用(金融商品・不動産)が安定的に進展

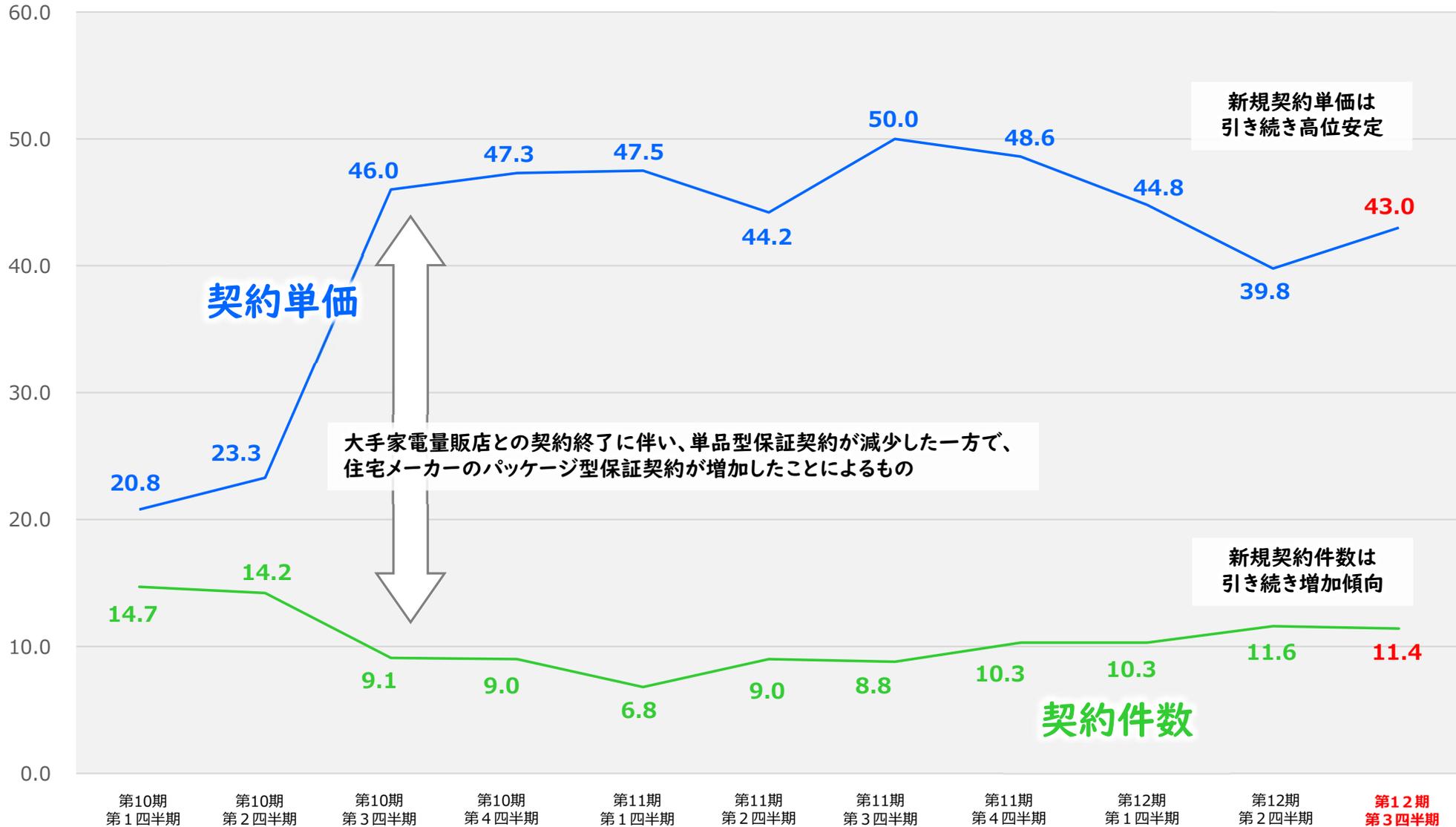
両事業セグメントとも増収増益を達成

※前期実績も費用配分方法変更を反映した上での対比

	今期 第3四半期 (2019.7~2020.3)	YoY		今期 第3四半期 (2019.7~2020.3)	YoY ※
売上高	1,469 百万円	133.5%	営業利益	202 百万円	174.2%
<small>おうちの トータル メンテナンス 事業</small>	1,040 百万円	125.2%	<small>おうちの トータル メンテナンス 事業</small>	90 百万円	353.0%
<small>BPO事業</small>	428 百万円	158.9%	<small>BPO事業</small>	111 百万円	123.4%

保証サービス 新規獲得 (契約単価・契約件数) の推移

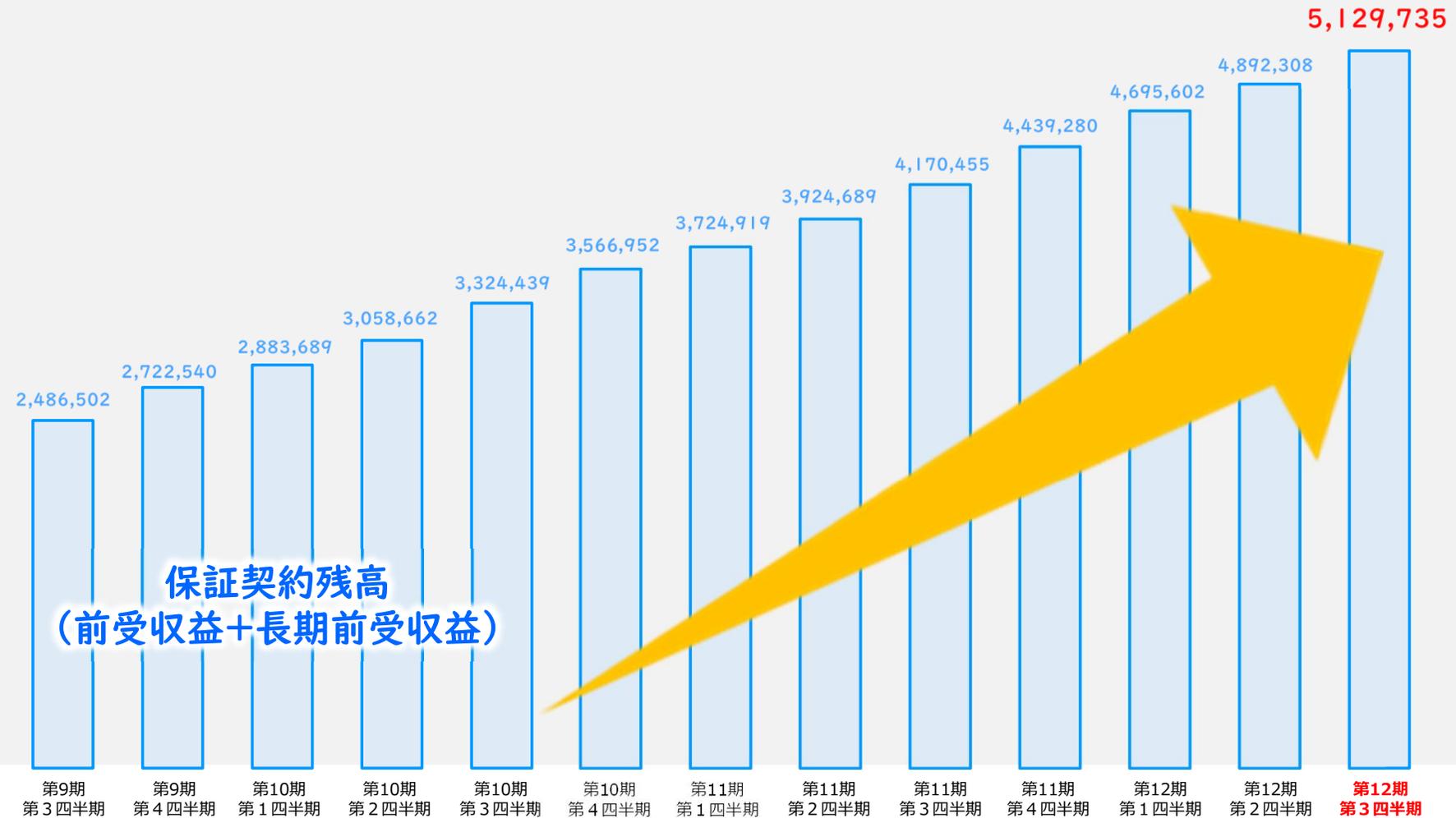
単位：千円・千件



保証契約残高（前受収益・長期前受収益残高）の推移

長期保証契約の着実な獲得により、安定的な収益構造の基礎となる
保証契約残高（前受収益および長期前受収益残高）は第3四半期末で50億円を突破

単位：千円



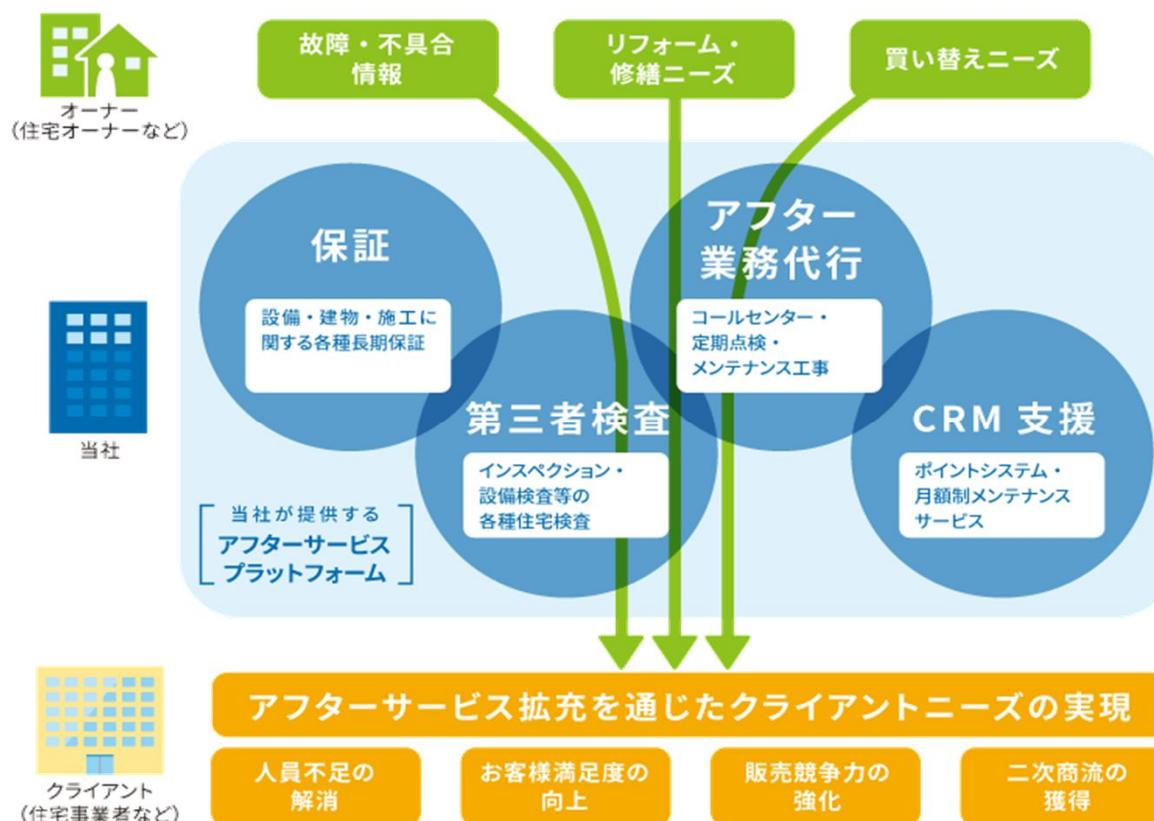
2020年6月期（2019.7~2020.6）連結業績予想

本社事務所移転や人材採用等を第4四半期に集中する費用および新型コロナウイルスによる経済環境変化を勘案し、通期連結業績予想は据え置き

	通期業績予想 (2019.7~2020.6)	YoY	
売上高	1,850 百万円	+203 百万円	112.3%
営業利益	192 百万円	+12 百万円	106.2%
経常利益	242 百万円	+29 百万円	113.7%
当期純利益	158 百万円	+15 百万円	110.5%

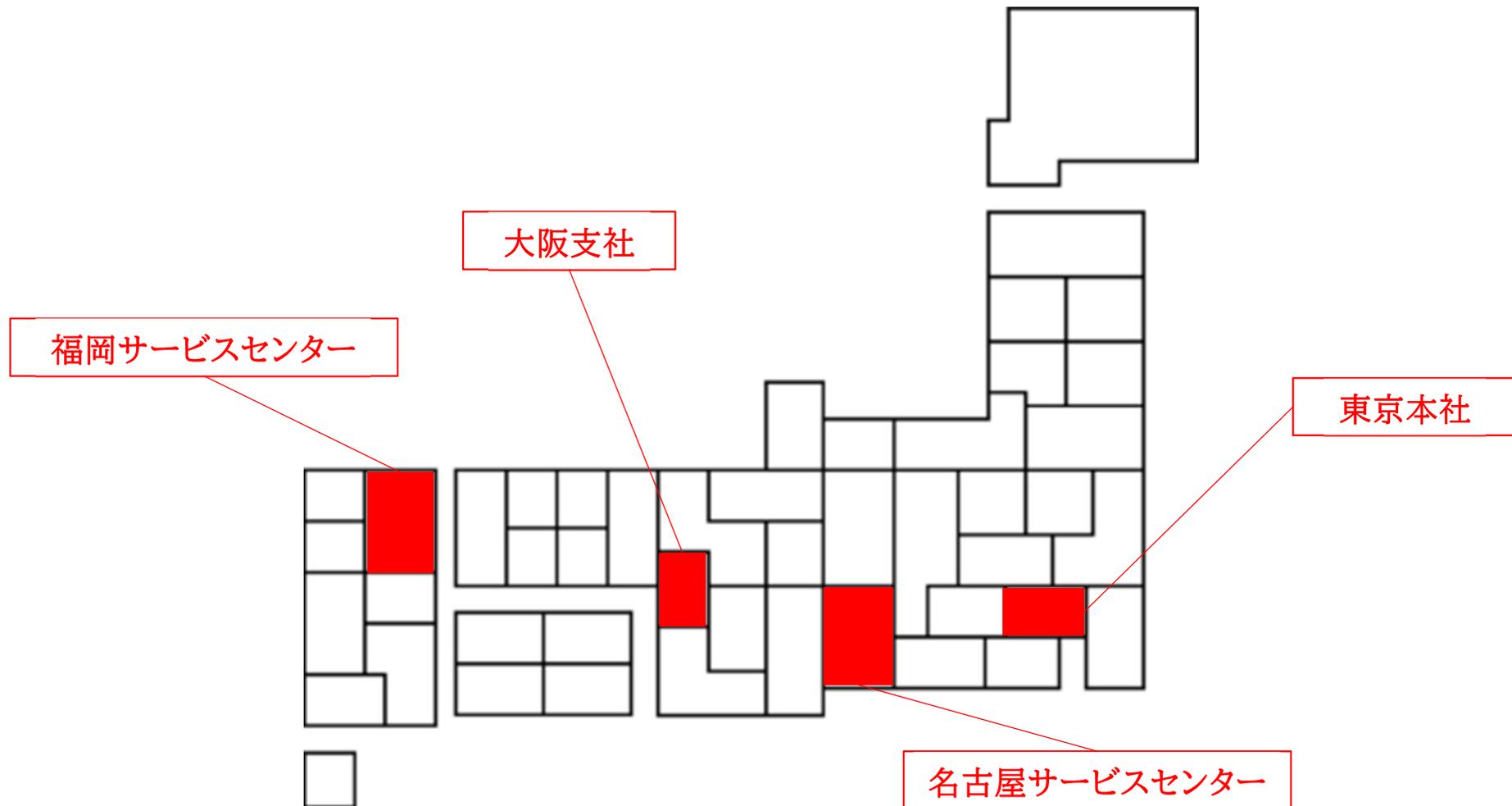
日本生命保険との業務提携 (2020.4.1発表済み)

- ・国内生保最大手である日本生命保険相互会社と法人等の顧客紹介に関する業務提携契約を締結
- ・企業向けに福利厚生制度の提案を行う法人営業部門との連携を通じて、該社の取引先様へ本業支援策として当社サービスの紹介を実施
- ・住宅関連に限らず、幅広い業種に対して、当社のアフターサービスプラットフォーム導入提案を推進



地方サービスセンターの開設 (2020.3/2020.4発表済み)

- ・住宅に関するリアルサービス(点検・メンテナンス等)提供体制の強化を目的に福岡・名古屋に拠点開設
- ・クライアントからのニーズが高いリアルサービスの高品質かつスピーディな提供を実現する



東京本社オフィス移転 (2020.5発表済み)

- ・事業規模の拡大に対応する本社機能の拡充、オフィス環境整備による業務効率および採用競争力の向上を図る目的でオフィス移転を実施
- ・<新オフィス住所>
〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-33-4 7F



1

2020年6月期通期業績への影響

- ・通期計画に対し業績への影響は軽微だが、住宅産業の動向については注視が必要

2

営業活動への影響

- ・従来より推進しているインサイドセールスを強化するとともに、オンライン会議システムなどのインフラ環境整備を重点的に行ったことで、影響は限定的

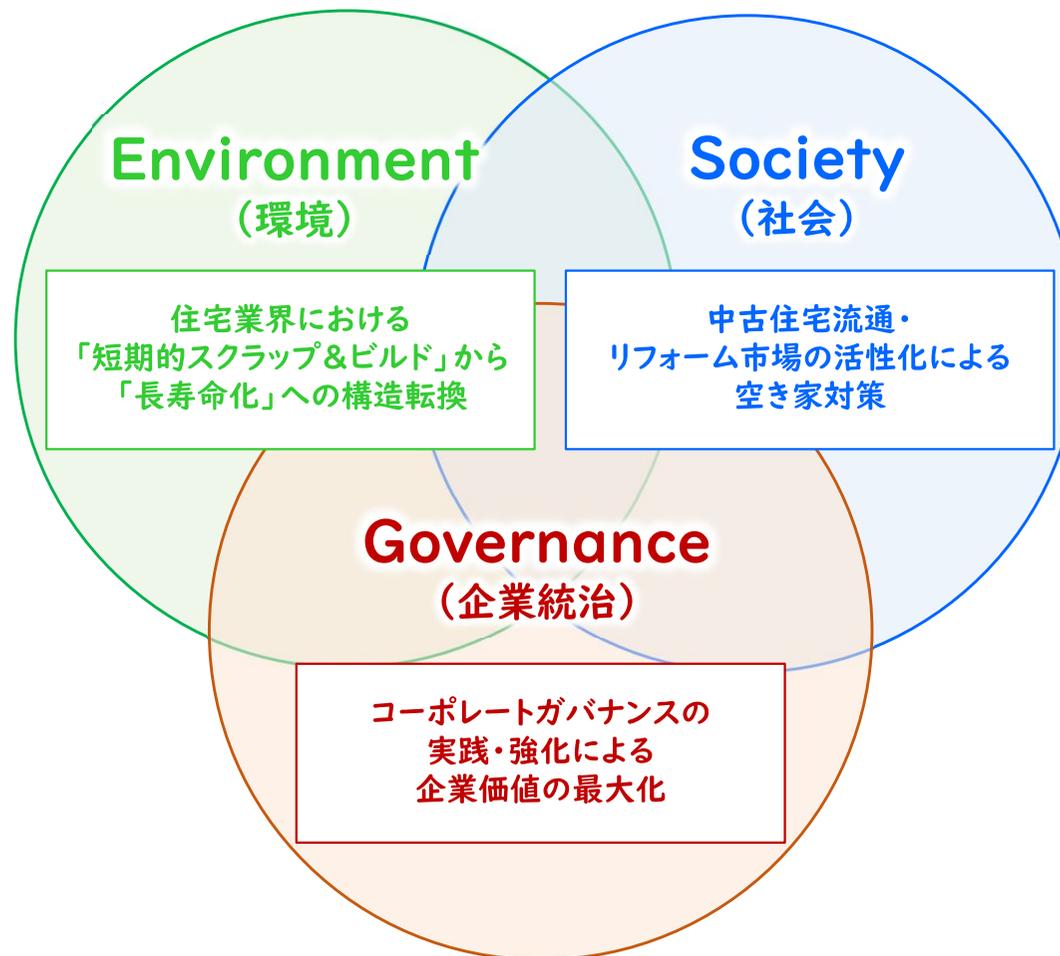
3

サービス提供への影響

- ・協力会社の感染拡大防止対策などにより、当社が手配する修理・検査等に一部遅れが生じているケースがあるものの、5月中旬より順次正常化の見通し

「100年の価値を、すべての住まいに。」

「良いモノを、永く使う文化をこの国に根付かせたい」その思いから、住宅設備の延長保証を開発し、私たちのビジネスはスタートしました。2019年で創業10周年。その思いをさらに昇華させ、検査点検・補修・電子マネー（ポイント）を組み合わせた独自のソリューションで、持続可能な社会の実現の一翼を担いたい、それがわたしたちの願いです。



本発表において提供される資料ならびに情報は、将来の見通しに関する情報を含みます。

これらは、現在における入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、将来の業績を保証するものではなく、実際には、これらの記述とは異なる結果を招き得る可能性や確実性を含んでおります。

それらの可能性や不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる将来の見通しに関する情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

すまいと暮らしの“未来”を創る



2020年5月18日
日本リビング保証株式会社
東証マザーズ:7320